富洲原中だより



校則は何のためにあるのか

『校則』とは『学習する場である学校生活を誰もが安全で、健康に、そして楽しく送る』ための必要最低限の約束事です。そのために、皆さんの先輩が生徒会で話し合いを重ね、改正をしてきました。

今の自分たちの置かれている立場、すなわち"中学生という時期"を自分たちで考え、判断し、その判断をもとにお互いに注意し合う関係を作って欲しいものです。

上の文章は、「令和7年度 入学のしおり」に掲載した内容で、校則についての学校と しての考え方を示すものです。

校則はみんなが安心して学ぶための"共通のルール"

「服装や髪型、持ち物などをもっと自由にしたい。」という意見も理解できます。しかし、「みんなが自由でよい。」と思っている人は、「他の誰かにとって負担や不安になっていないか」ということを考えてみてほしいのです。

服装や髪型、持ち物そのものは、学習とは無関係です。しかし、これらのことが気になって学習がおろそかになったり、トラブルが起きたり、人によっては不安を感じたり、集中しづらくなったりすることもあります。これは中学校としては避けたいことです。そのために有効な手段として校則を定めているのです。

中学校は教科の学習だけでなく社会のルールやマナーについても学ぶ場

時間を守る、身だしなみを整える、公共の場での振る舞いに気を配る。これらは将来の 社会生活で必要な力です。中学校は教科の学習だけでなく、このような社会のルールやマ ナーを、集団での活動を通して身に付けていく場でもあります。このような考えで、中学 校では、みなさんに場所や目的に応じた身なりや行動を求めています。

このたよりの裏側に、「登下校」と「身なり」についての校則の一部を掲載します。も う一度確認してください。

The translated version of this Tomisuahara Junior High School newsletter is available on the school website. Please access it via the QR code.



≪校則の意義≫

「学習する場である、学校生活を誰もが安全で、健康に、そして楽しく送る」ための最低限の約束事です。そのために、皆さんの先輩が生徒会で話し合いを重ね、改正し、作り上げてきたものです。

以下の校則は、先輩方がなんのために、作り上げてきたのか、考えましょう。

(登下校について)

- 1 登下校は、定められた通学路を通り、交通ルールやマナーを守る。
- 2 登下校は、寄り道をしない。登下校時にコンビニなどに立ち寄ることは禁じている。
- 3 登校時刻を守る。登校時刻の8時30分前までに教室でカバンや荷物をロッカーに入れ、自分の席に着席する。
- 4 <u>通学は徒歩を原則とする。自転車を使用する場合は、必ずヘルメットを着用する。</u> ※学校で、貸し出し用のヘルメットを準備しています。
- 5 登校後は、無断で校外へ出ない。
- 6 登下校時は、制服着用を原則とする。ただし、下記の場合は体操服でもよい。
- ①放課後活動(部活動等)をした場合の下校時
- ②その他、行事等で必要に応じて認める場合があります。

(身なりについて)

- 1 服装
- ②冬服・・・学校指定学生服、学校指定セーラー服、学校指定スカート・スラックス、共用標準制服
- ※衣替えの期間を設けておりませんので、季節や体調に応じた正しい服装をこころがけましょう。
- ※冬服の下には、白、黒、紺、茶、グレーを基調とした V ネックまたは丸首のセーター、トレーナー、カーディガンなどの着用が認められている。(ただし、上着の袖口や裾から出さないようにする。
- 3 靴は、ハイカットではないスポーツシューズとする。
- 4 靴下は運動に適し、TPOに応じたものを使用する。
- 5 防寒着、防寒具として、以下のものはよい。
- ①学ラン、セーラー服、ブレザーの下に着用できるもの。
- ・セーター・トレーナー・ストッキング・タイツ
- ※白、黒、紺、茶、グレーの単色を基調としたものでワンポイント程度。袖や裾から出ないようにする。
- ※ストッキング・タイツ:黒、ベージュ系で飾りや柄がないもの。
- 6 頭髪は、学校生活や授業に支障のないものとする。
- ①髪型に関する具体的な基準は以下の通りとする。
- 1) 染色や脱色は禁止
- 2) モヒカンや髪を固めて立たせることは禁止
- 3) 頭の上でのポニーテールは禁止
- ※パーマについては特別な事情のある場合のみ要相談
- ②**髪が目に入らない**ようにする。
- ③整髪料は無香料で、目立たない程度にする。
- ④髪の長い生徒は、授業に支障が出る場面で、指示がある場合は髪を束ねる。

また、髪を束ねるためのゴムは1つ身につけてもよい。(理科の実験、技術、美術、体育、書道、給食当番) ※ゴムの色に指定はないが、シュシュや装飾のあるものは使用しない。